

# 子供用椅子<絆>

八代研究室

00212087 塚越 翔大

子供用 親子 絆

## 1. はじめに

本作品は「絆」をコンセプトとしている。「絆」は親が子供の為に子供用の椅子を作り絆を深めると言う意味である。さらに接合部の組み合わせも親子の繋がりを表し、親が子供を抱きかかえ包み込むというイメージをデザイン化している。

## 2. 制作コンセプト

子供用椅子の制作を行うにあたり、高さ・幅・座面高さ・座面奥行きなどの寸法を求めため、「メイプルハウスHP」事例を調査しそれらをグラフ化してその平均値を参考とし、実際に作成した(図1)。

図1の1.3から1.5は子供用椅子45作品の各寸法を記したグラフである。

椅子の奥行きと全体の高さ、座面高さを表したものを図1の1.3に記し、椅子の横幅と全体の高さ、座面高さを表したものを1.4に、横幅と奥行きを1.5に記した。そしてこのグラフの平均値より今回制作する子供用椅子全体の寸法を求めた。同時にいくつかのデザイナーズチェア(図1の1.2)をあげその寸法もグラフに記し、大人用と子供用の寸法の比較をした。このことより子供用の椅子の寸法は大人用の寸法を単に縮小したものではなく、ほとんどのものが重心の低い安定性のあるものが多かった。このことから子供用の椅子には「安定性」も重要なことがわかり制作に活かせる事が出来た。

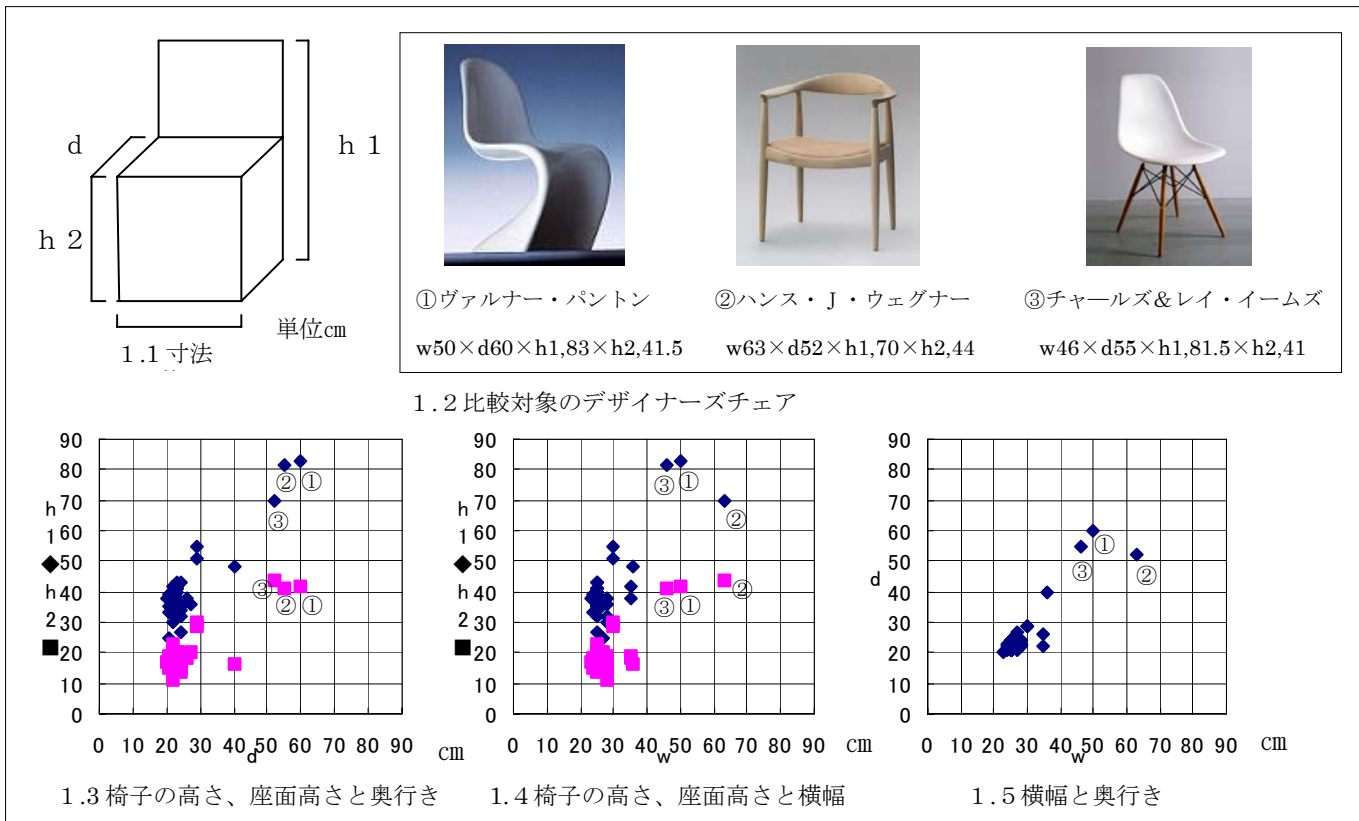


図1 寸法を決定するための事例調査

#### 4. 制作プロセス

##### (1) 木取り

木材を水平・垂直にして各部材を切り出す作業。長さ、幅の状態に寸法を合わせる。この時大まかな寸法に合わせる。

##### (2) 墨付け

各部材に寸法を書く。寸法は仕上がり寸法より少し多くとる。

##### (3) 刻み

丸鋸、角鋸、鑿、鋸を使い墨付けした寸法どおりに部材を加工していく。

##### (4) 仮組み

出来上がった部材がきちんと組みあがるかどうかを行う。

##### (5) 塗装・仕上げ

塗装を行うにあたりまず、下地調整として 180 番から 240 番のサンドペーパーをかける。塗装はオイルフィニッシュとするので、塗料を塗り 400 番の耐水ペーパーをかける。

#### 5. まとめ

子供用ということで丈夫さや、重量を考えて設計しなければならなかったが、デザインと丈夫さを重視したため重量が少し重くなってしまった。しかしそのため低重心の安定した作品を作ることが出来た。

座面が2段階に調節できるようになっているのだが、その組み替えをする際に接合する部分をいかに簡単に行うことができるようになるかを再検討する余地があった。そして座面を2段階に調節できるようにすることで、子供の成長に合わせることが出来、親と子供の繋がりを確かめることが出来るものとなった。

制作も難しい技法などは用いていないので、コンセプトである「親が子どもの為に作る椅子」を作ることができた。

##### 【参考文献】

- 1) メイプルハウスホームページ  
<http://business2.plala.or.jp/maplehs/pege017.html>
- 2) 原色インテリア木材ブック  
宮本茂紀編

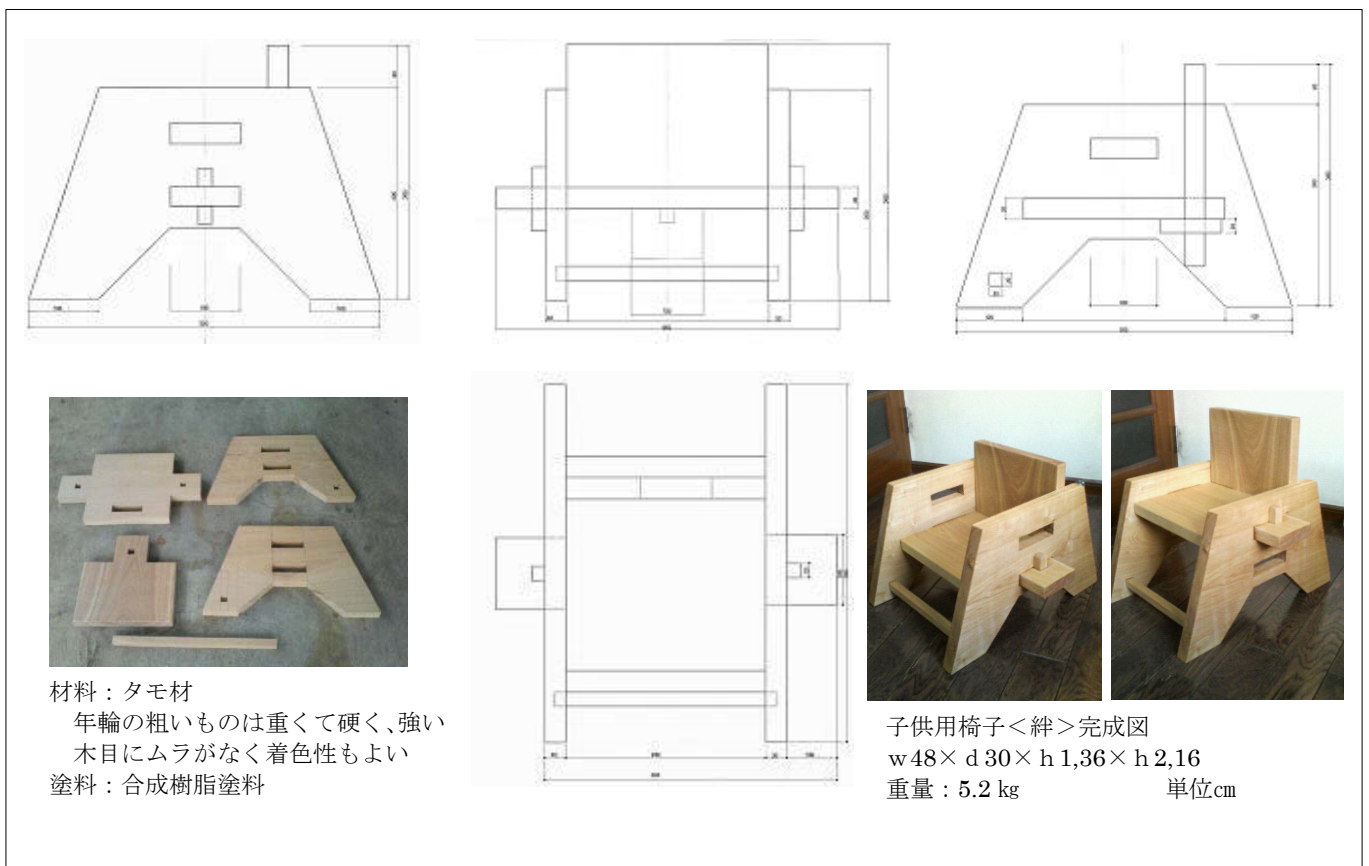


図2. 制作（子供用椅子<絆>）設計図